

DPF 初期化 [RF-CDT]

id011551092651

警告

- ・ DPF 初期化中は、高温の排気ガスが排出されるため、近くに人や可燃物がある場合、火傷や火災など重大な損傷、損害につながる恐れがある。DPF 初期化を実施する場合は、必ず周りに人や可燃物がない場所で行う。
- ・ 排気ガスを多量に吸い続けた場合、一酸化炭素中毒になる恐れがあるため、DPF 初期化を実施する場合は、必ず風通しの良い広い場所で行う。

参考

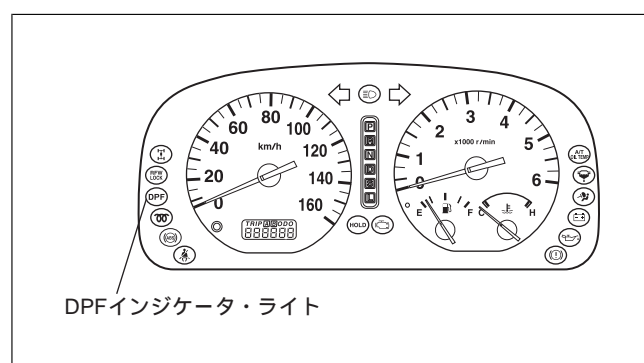
- ・ DPF 内に堆積している実際の PM 堆積量と PCM が認識している PM 堆積量の誤差を解消するため、PCM またはキャタリスト・コンバータを交換した場合、およびサービス・コード (P0102, P0103, P0472, P0473, P0548, P0549, P0601, P2454, P2455) 表示時は必ず実施する。
- ・ DPF 手動再生は以下の条件では作動しない。
 - 標高 約 1,000 m 以上
 - 吸入空気温 0 以下
- ・ DPF の初期化は、DPF 手動再生を強制的に以下の条件で繰り返し実施することである。

DPF 初期化実行回数条件表

条件	DPF インジケータ・ライト状態 (PCM 交換前、サービス・コード確認時)	DPF 初期化 実行回数	
		ZTS_C93D(PID)確認時	指定回数
キャタリスト・コンバータ交換時*			3回
PCM 交換時*	点灯、点滅なし		3回
	点灯あり		4回
	点滅あり		5回
サービス・コード P0601 表示時*			5回
その他の場合	点灯、点滅なし	「6.51 M」 以下になるまで	(3回)
	点灯あり		(4回)
	点滅あり		(5回)

* : 下記手順 10 に関する印となります。

1. エンジンを完全暖機状態にする。(エンジン冷却水温度 70 以上)
2. シフト・レバーをニュートラル (MT 車)、またはセレクト・レバーを P レンジ (AT 車) にする。
3. アクセル・ペダルを全閉にする。
4. エンジン・スイッチを OFF にする。



abnjw0000055

5. M-MDS をダイアグノシス・コネクタ 2 に接続する。
6. ジャンパ・ワイヤを使用して、ダイアグノシス・コネクタ 1 の TEN 端子をボデー・アースする。
7. エンジンをアイドル状態にする。

参考

- ・ DPF 初期化実施の中断は、次の操作で行う。
TEN 端子のボデー・アースを解除

8. M-MDS のデータ・モニタ機能を使用して、以下の PCM 出力信号をモニタする。
 - ・ ZTS_C93D

参考

- ・ 手順 9 を実施すると、約 5 秒後にアイドル回転数が上昇し、DPF 手動再生と同様の DPF 燃焼再生が開始する。

9. レーシングを 2 回行う。
10. アイドル回転数が通常に戻った後、以下に従って手順 8 から繰返し実施する。
 - ・ DPF 初期化実行回数条件表の*印の条件に該当する場合は、指定回数分を繰返し実施する。
 - ・ その他の場合は、ZTS_C93D の数値を確認し、基準値以下になるまで繰返す。
M-MDS での数値確認が出来ない場合には、指定回数分を繰返す。

基準値

6.51 M

11. アイドル回転数が通常に戻った後、エンジン・スイッチを OFF にし、10 秒以上放置する。
12. TEN 端子のボデー・アースを解除する。

